

安心・安全の北区 岡田ゆき子は全力あげます

利用しやすい市バス路線へ

北巡回バスの路線改善に取り組み、利用者みなさんに喜んでいただいています。引き続き、「楠巡回バスの降車場を大曽根駅に近くに」、「楠西地域から楠支所への直通バス路線の実現」、「北巡回バスの時間をあと1時間早く」など、願い実現へ力をつくします。



市営住宅の改善へ

高齢世帯の多い市営住宅の浴室やベランダなどのバリアフリー化など住環境の改善を名古屋市市の責任で行います。

浴槽が高くてまたげないので、湯船につかれない



入浴の介添えで2人入ると扉が開められない



消費税10%

憲法改悪

原発再稼働

沖縄新基地

名古屋から安倍暴走政治にサヨナラを

市民と野党の共闘、日本共産党の躍進で政治を変えよう

安倍自公政権は数を力に強行採決を繰り返し、ウソと隠ぺい、でたらめな政治を行っています。くらしが大変で消費不況の中、消費税10%などともありません。いまこそ、市民と野党の共闘と日本共産党の躍進で戦後最悪の安倍政権を終わらせ、憲法を守り、増税中止、原発ゼロの日本を築こうではありませんか。

市民のみなさんの声と福祉の心で市政を動かす

ケアマネジャー時代、年金が少なく介護保険料が払えないという高齢のご夫妻からの相談が寄せられました。保険料を一括して納めなければ介護は利用できません。よく知っている介護機器の業者さんにお願ひし、試用で介護ベッドをレンタルするなど可能な努力をしましたが、十分なサービスを提供できず情けない思いでいっぱいでした。

「いまの介護制度では、必要な人に必要なサービスを提供することはできない」と悩んでいた時、「制度を変えることで、市民のみなさんの役に立つ仕事をして欲しい」という要請を受け、市会議員としてみなさんに送り出させていただきました。

北巡回バスの路線改善、上飯田連絡線への敬老バス利用、国保料の値下げなど、市政を動かすことができたのは、『国民が主人公』を貫く日本共産党の議員だからです。

あなたの願いが届く政治へ、引き続き頑張ります。

名古屋
市会議員

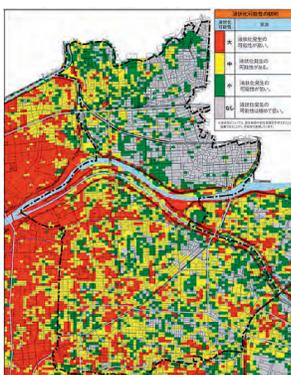
岡田ゆき子



1965年 京都府生まれ。信州大学看護学科卒。北医療生協・訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所で勤務。2011年3月名古屋市会議員に初当選し現在2期目、党名古屋市議団副団長。八龍町在住。家族は夫と娘。

安全・安心の防災対策を

相次ぐ豪雨災害や庄内川や矢田川など河川の防災対策、南海トラフ地震時に液状化の危険が指摘されている地域の対策など、防災・減災を抜本的に強化します。過去の災害の教訓を踏まえて、人権に配慮した避難所の整備もすすめます。



北区の液状化ハザードマップ

名古屋空港の軍事化許さない

F35 戦闘機の整備拠点として県営名古屋空港の軍事化が進行。F35 の試験飛行の騒音で住民のみなさんから苦情が相次いでいます。さらに、欠陥飛行機と言われるオスプレイまで小牧基地に飛来しています。私たちの住むまちの軍事化は許しません。



いま 日本共産党がアツい!

はたらく人の味方

大企業の横暴を許さず、労働者一人ひとりの権利をまもりまします。ブラック企業対策をはじめ、社会保障制度改悪を許さないたたかいに力を入れています。

原点は反戦平和

日本の侵略戦争に反対をした唯一の政党です。国民を弾圧する治安維持法のもと、少なくない先輩が命を落としました。反戦平和は私たちの原点、誇りです。

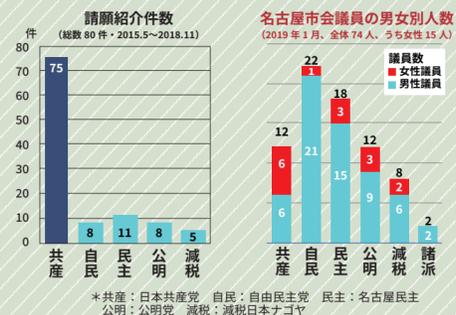
一人ひとりが豊かになる社会をめざします

日本共産党がめざす未来社会は、一人ひとりの生活が豊かになり、自由な時間が大幅に増え、個人のもつあらゆる能力が開花する、そんな社会=社会主義・共産主義社会をめざしています。

4月の市議選で日本共産党を伸ばし 北区から安倍政治に審判を!

住民こそ主人公

市民の声を議会に届け、行政を住民の立場でチェック。市民の請願を紹介し、日本共産党の名古屋市の女性議員は50%。住民とともに政治を動かしています。



7月 参院選



参議院比例代表は「全国ひとつ」の選挙区です。政党名でも候補者名でも投票できます。選挙制度解説(記載例)

北区民報

発行：日本共産党北区委員会 名古屋北区御成通 1-15 TEL.052-912-6096 FAX.052-915-4458 2019年3月号外 日本共産党の見解・活動を紹介しします。

岡田ゆき子 LINE@に
登録してください



ブログもあります
ゆっこいこう 検索

安倍政治の“地方こわし”と正面对決 いのち暮らしを守る名古屋市へ全力

河村市政は、安倍自公政権に追随し、2027年とされるリニア開通を起爆剤に、大型事業、大型開発を推進。一方で、市立保育園や幼稚園、図書館、学校給食などの民営化・民間移管で市民サービスを切り捨てています。岡田ゆき子議員は、こうした地方こわしと対決し、いのちと暮らしを守るためにがんばっています。

市民サービス放棄の民営化を許さない

市立保育園や幼稚園、図書館、学校給食などの民営化・民間移管をすすめる河村市政。1万5千の署名に示された保護者の声を議会で取り上げ、乱暴な市立報徳幼稚園の閉園を1年延期させました。

学校給食調理では、民営後の異物混入などの実態を示して対策を求め、正規職員配置を堅持させるなど、委託要件を改善させました。

さらに、名古屋市が、介護保険の認定事務まで民間に丸投げした結果、現場で起こっている深刻な実態を事実にもとづいて指摘し、改善を求めています。



岡田議員が提案して実現した介護事業者と市の懇談会

国会、県議会と連携して

国会や県議会と連携して市政を動かす実績は、日本共産党ならではのものであります。

就学援助の増額・入学前支給

日本共産党の畑野君枝衆院議員が、「就学援助の入学前の支給を」と繰り返し求めた結果、文部科学省は2017年3月、「入学する年度の開始前に支給した『新入学児童生徒学用品費等』を国庫補助対象にできる」という通知を出しました。



岡田議員は、この通知を示し、名古屋市に入学前の支給を求め、今年の4月入学の子どもたちから入学前の支給が実現しました。

国保料の値上げストップ

国保制度を都道府県単位にした場合でも、市町村独自に行われてきた減免制度は継続できることを共産党県議が確認。岡田議員がこの答弁を受けて、名古屋市を追及し、名古屋では都道府県一本化に伴う保険料値上げを許しませんでした。

上飯田連絡線で 敬老パス利用実現

名古屋市が出資する地下鉄路線にもかかわらず敬老パスが利用できなかった北区の上飯田駅-味鋸駅の間で、昨年10月から敬老パスが利用できるようになりました。地域住民のみなさんと岡田議員が7年越しの運動に取り組んできたものです。この成果に励まされ、「名鉄やJRでも敬老パスが使えるように」と世論が広がり、名古屋市は敬老パスの利用拡大へ検討を開始しました。



▲「2017年12月28日 中日新聞 市民版」
▼「愛知民報」 2018年2月25日号

JR・名鉄などへ利用拡大へ 河村市長も公約、必要予算は9億円

「敬老パス値上げ絶対ストップ」「タクシー割引、買い物割引への利用導入へ。敬老パスで元気に。名鉄、JRなどへの利用導入を検討」と明記しています。私鉄・JRへの拡大に必要な経費は当局の試算で約9億円。1兆円の財政規模の名古屋市は十分捻出できます。

いのちと暮らしを守る名古屋へ 市会議員 岡田ゆき子のお約束

日本共産党 だからできる 財源提案

カジノ誘致や大型開発などのムダ中止
2019年度予算案
リニア関連基金 100億円
国直轄道路負担金 46億円

富裕層優遇の
市民税減税を廃止 112億円

財政調整基金などの基金を積極的活用

●議員報酬は 元に戻す
1450万円
→**800万円**
●海外視察は中止
●議員報酬をいったん元に戻し、市民参加の第三者機関で適正額を議論します。

共産党躍進で切り開いた成果いかし 次の4年間で実現めざします

	【この4年間でここまで前進】	【実行します】
子ども医療費助成	来年1月から18歳まで入院無料に	通院も18歳まで無料に(約11億円)
学校給食	市の検討会で無料化含む議論開始	小学校給食は無料に(約41億円)
敬老パス	私鉄への利用拡大へ市が正式検討	利用制限なしの拡大(約9億円)
国保料大幅引き下げへ	○名古屋市として18歳未満の均等割廃止(約17億円) ○均等割廃止へ国・県に1兆円の公費投入求める	

市民の願いに対して 各党の態度は

企業・団体献金も政党助成金も受け取らない日本共産党だからこそ、住民の目線で市政をチェックできます。

項目	共産	自民	民主(立憲、国民)	公明	減税
巨大地下通路などリニア開通に関連した名古屋駅周辺等の再開発関連予算	×	○	○	○	○
議員報酬引き上げの条例(年800万円→1450万円)	×	○	○	○	×
名古屋城天守閣木造復元の条例や関連予算	×	○	○	○	○
小学校給食の調理業務を市直営にもどす請願	○	×	×	×	×
公立保育園の民間移管拡大に反対する請願	○	×	×	×	×
2019年10月からの消費税増税中止を求める意見書	○	×	△	×	△

○賛成
×反対
△検討中
2018年11月議会の各党の態度

“地方こわし”の安倍政権言いなり 大型開発優先、暮らし・福祉切り捨て 自民・公明と河村市長 言いなり 減税

不要不急の
大型開発

- 名古屋駅前開発に100億円の基金
- 中部空港の2本目滑走路
- カジノ誘致

地方自治体の
公的責任放棄

- 公立保育園123ヶ所→78ヶ所へ削減
- 小学校の統廃合 給食の民間移管
- 市立図書館の民営化
- 介護保険料は県下最高額 減免制度なし
- 敬老パスの利用拡大の一方で、利用額の制限主張

減税日本

不祥事続きで、離党や議員辞職相次ぎ、4年前12人→現在7人に。市長提案に賛成するだけのイエスマン。



JR名古屋駅ではリニアの地下駅工事が進み、周辺の開削工事や名古屋城南の非常口工事など、膨大な掘削土砂の運搬による影響が心配されています。